



令和4年9月7日

広島大学公開講座 「小惑星リュウグウが教えてくれる太陽系・地球・生命の不思議」

情報提供

2020年の暮れに小惑星探査機「はやぶさ2」が、地球に近い軌道を公転する小惑星リュウグウの表面で採取した砂を地球に持ち帰りました。その分析の成果がテレビや新聞などで公表されつつあります。この講座では、はやぶさ2の固体有機物分析のチームリーダーである藪田ひかる教授による最新結果の紹介をはじめ、小惑星と地球に生きる私たちとのつながりや天体観測で分かった小惑星リュウグウの素性なども紹介します。講義は全てオンライン（Zoom）で実施し、定員は300人です。私たちが惹きつけてやまない宇宙の神秘と秘密に迫ります。※開講日時が変更になる場合は、Webでお知らせするとともにお申込みいただいた方にも連絡させていただきます。

〔講義概要〕

第1回

- タイトル：地球の原料を太陽系小天体の天体観測で探る
- 日程：令和4年10月15日（土） 16:00～17:15
- 講師：広島大学宇宙科学センター 教授 川端弘治

第2回

- タイトル：小天体サンプルリターン [前編]：意義とその歴史
- 日程：令和4年10月22日（土） 16:00～17:15
- 講師：広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 藪田ひかる

第3回

- タイトル：小天体サンプルリターン [後編]：「はやぶさ2」が持ち帰ったリュウグウのサンプル分析から何がわかったか
- 日程：令和4年10月29日（土） 16:00～17:15
- 講師：広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 藪田ひかる

【対象】 どなたでもご参加いただけます

【受講料】 無料

【お申込み方法】

- Webでのお申込 https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/how_to2022kouki_online

【お問い合わせ先】

広島大学 学術・社会連携部 地域連携部門
Tel: 082-424-5691
担当：平田
E-mail: chiikirenkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）